

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【公表番号】特表 2017-533751 (P2017-533751A)

【公表日】平成 29 年 11 月 16 日 (2017.11.16)

【年通号数】公開・登録公報 2017-044

【出願番号】特願 2017-522642 (P2017-522642)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

A 6 1 M 16/20 (2006.01)

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

F 1 6 K 31/06 (2006.01)

F 1 6 K 17/06 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 M 16/00 3 4 3

A 6 1 M 16/20 J

A 6 1 M 16/06 Z

F 1 6 K 31/06 3 1 0 F

F 1 6 K 17/06 C

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 28 日 (2019.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験体の咳嗽流の間の圧力を制御するシステムであって、前記システムは、

前記被験体の気道と連通する被験体インターフェースと；

前記被験体インターフェースを介して流れを選択的に制御する圧力調整器であって、（
i）ガスが実質的に全く前記被験体インターフェースを介して前記被験体の前記気道とやりとりされなくなるように前記被験体インターフェースが閉鎖される第 1 のモードと、（
i i）前記被験体の前記気道から前記被験体インターフェースを通してガスが排出されることを可能にするために前記被験体インターフェースが開放される第 2 のモードとにおいて動作する、圧力調整器と；

前記被験体の個々の呼息ごとに一連の強制呼息事象を生じさせるために、前記被験体の前記個々の呼息の間において前記圧力調整器が前記第 1 のモードと前記第 2 のモードとの間でトグル式に切り換えられることとなるように前記圧力調整器を操作する制御器と；

前記被験体インターフェースを通して流れるガスと流体連通する 1 つ以上のガスパラメータセンサと

を含む、システムにおいて、前記システムが、

前記被験体インターフェースと関係づけられる圧力除去弁であって、前記咳嗽流の間において前記被験体インターフェース内の圧力を所望の範囲内に維持するように、前記圧力調整器が前記第 1 のモードで動作する間には、前記被験体インターフェース内の圧力が所定の閾値を超えたことに応じて前記被験体インターフェースを開放し、そこからガスを放出し、前記圧力調整器が前記第 2 のモードで動作する間には、閉鎖したままである、圧力除去弁をさらに含むことを特徴とする、システム。

【請求項 2】

前記圧力除去弁が、前記被験体インターフェース内の圧力が前記所定の閾値を超えたことに応じて動作するボペット及びばねを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記圧力除去弁が、前記被験体インターフェース内の圧力が前記所定の閾値を超えたことに応じて動作するソレノイド弁を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記 1 つ以上のガスパラメータセンサが、前記被験体インターフェース内の圧力に関する情報を伝達する出力信号を生成する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記圧力除去弁が、前記圧力調整器と一体的に形成される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記圧力調整器が、吸息時間及び / 又は吸息体積に基づき動作する、請求項 1 に記載のシステム。